



©Katsumi Kosakai



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】トップアスリートの挑戦 第1回 「走りながら考える」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	過酷なスポーツの世界で、挫折や限界を乗り越え、挑戦を続けるトップアスリートのお話から、人生を前向きに生きるヒントを学びます。 全3回シリーズの第1回は、男子400mハードルの日本記録保持者である為末大さんをお招きし、「スポーツを通じて社会に貢献したい」と語るご自身の活動や思い、今後の目標について対談形式で伺います。
日にち	2013年06月27日（木） 18:30から19:50
日にち説明	当日の受付開始は18：00～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
関連ファイル	走りながら考える チラシ
定員	200名（申込順、定員に達し次第締め）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	為末大・吉井妙子
プロフィール	<p>■為末 大（ためすえ だい） 『侍ハードラー』の異名で知られ、現男子400mハードルの日本記録保持者。シドニー、アテネ、北京の3大会にてオリンピック出場。2001年エドモントン世界選手権で、男子400mハードル日本人初の銅メダルを獲得し、さらに2005年ヘルシンキ世界選手権で、日本人初の世界大会トラック種目2度のメダル獲得という快挙を達成した。</p> <p>一方で陸上競技の普及活動に積極的に取り組み、東日本大震災時は「TEAM JAPAN」の立ち上げや競技の枠を超えたアスリートへの呼びかけなど、社会に向けても広く活動している。著書に『走る哲学』（扶桑社新書）、『走りながら考える』（ダイヤモンド社）、『負けを生かす技術』（朝日新聞出版）、他多数。</p> <p>■吉井 妙子（よしい たえこ） 1991年、13年勤務した朝日新聞社を退社し、スポーツジャーナリストとして独立。『帰らざる季節—中嶋悟F1五年目の真実』（文藝春秋）で91年度ミズノスポーツライター賞を受賞。現在、ジャンルを問わず人物ノンフィクションを手がける。著書に『神の肉体 清水宏保』（新潮社）、『天才は親が作る』（文春文庫）、他多数。</p>

主催	上廣倫理財団
----	--------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------

申込期間	2013年04月23日 10:00 から2013年06月27日 18:30
------	---------------------------------------

申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(講演会)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
------	--

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2013年 06月						
	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29

発信日

2013.04.24



印刷



リストに追加

ツイート